



【北部方面総監初度視察受察】

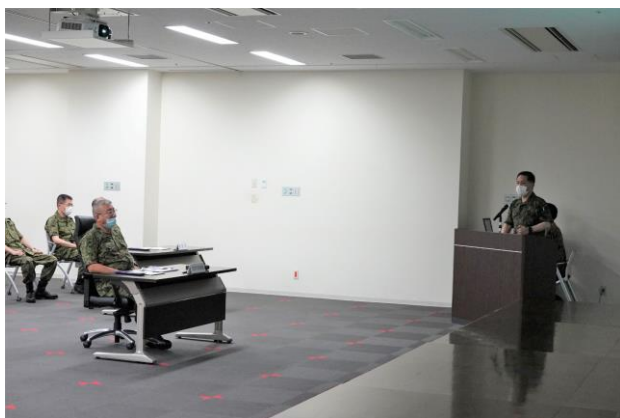
令和2年7月9日

令和2年7月9日（木）自衛隊札幌病院（病院長：大鹿陸将）は、北部方面総監（前田陸将）初度視察を受察した。

病院長から方面総監に対して、病院の任務、編成、特性等の概要、診療・健康診断等の実施状況、医療の質の向上に係る取り組み、各種任務遂行に必要な能力の維持・向上のための教育訓練等について報告し、病院の現状を把握していただいた。

また、院内の施設巡視においては、隊員が入院する一般の病室と特別室、診断に必要なCT、アンギオ（血管造影）等の検査機器のほか、大量傷者受入時に使用するベンチベッドの展開要領、地下の免震構造等について説明し、大規模災害時に対する備えについて確認いただいた。

方面総監は、訓示において、病院長以下病院職員に対して病院の支えがあるから隊員が活躍できると述べられ、病院職員一同、病院の役割の重要性と方面総監の期待の高さを再認識し、さらに職務にまい進することを誓った。



病院長（大鹿陸将）による状況報告



病棟（特別室）を説明する看護部長



アンギオ等検査機器の説明



ベンチベッドの説明をする看護部長



地下免震構造の説明



北部方面総監（前田陸将）訓示